

鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和6年度 学校報 No.25

文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校

令和6年 10月10日



前期の学びから後期へつなぐ



「バスの中は暖かいのに外に出るとヒヤヒヤします。」

朝のあいさつの後に教えてくれた子どもがいました。「秋冷の候」を実感するこの頃です。

前期の終業式では、私からは「自分の”できていたこと””できなかったこと”を見つめ直して後期につなげましょう」とお話ししました。できていないと感じるのは、もっとよくなりたいたいという気持ちの表れと考えるからです。前期の振り返りと後期にがんばりたいことを、2年佐***さん、4年真***さん、6年村***さんが代表でお話ししてくれました。久しぶりに体育館に響く校歌の歌声は、伸びやかで清々しく、前期の締めくくりぴったりでした。

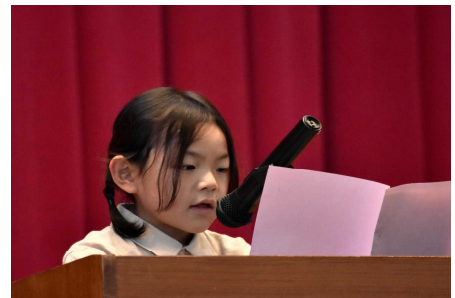
2年 佐***

わたしが2年生になって、がんばったことは2つあります。

1つ目は、国語のかん字をおぼえることです。1年生のときより、むずかしいかん字がふえたので、かてい学しゅうでも、たくさんとりくみました。1日おきにかん字をがんばったので、しゅうテストは、いつもごうかくすることができました。それからじゅぎょう中も前よりしゅう中してがんばれるようになりました。いいことは、これからもつづけていきたいです。

2つ目は、友だちみんなにやさしくできたことです。前までは、少しつよめに友だちにちゅういをしてしまったこともあったので、まえよりもつよく言わずにやさしく言おうときめていました。これからは、ありがとうや、ごめんねが言える2年生になりたいです。

こうきにがんばりたいことは、算数です。かけ算もならうので、しっかりおぼえたいです。生活ではおそうじをがんばります。むごんですみずみまで学校をピカピカにしたいです。



4年 真***

わたしが、前期にがんばったことは2つあります。

1つ目は、学習についてです。学習では国語と算数をがんばりました。理由は、漢字の音読みや訓読みが少し分からなかったけど、少しずつ家で練習してちょっとずつ分かるようになってきたからです。算数は、わり算のせいしつが少し苦手だったけど、友だちや先生とやっていくうちに、少しずつ分かるようになってきました。

2つ目は、生活についてです。特にあいさつとそうじをがんばりました。あいさつでは、目を見て礼をするあいさつを、毎日わすれずにできました。そうじは、無言せいそうやすきまのごみなどをなるべく残さずにそうじしたりできました。

後期は、もっと漢字をおぼえたいです。それと、文章を読むのが苦手なので、本をたくさん読んで文章を読む力をつけて苦手をなくしたいと思います。生活では、全学年でのあいさつ運動の中で一番をとれなかったけど、次は、全学年の中で一番を学年のみんなとりたいと思いました。ときめきあいさつをわすれないようにしたいです。掃除では、無言せいそうを心がけ、せっきょ的にそうじができる所を自分から探したいと思います。わたしは、分からない問題をよく一人で考え込むくせがあるので、みんなで話し合いながら問題をといて、一人で考えこまないような自分になりたいと思いました。後期は、学習でも生活でもみんなと協力して高め合える4年生としてがんばりたいです。



6年 村***

前期がんばったことは、たくさんあります。その中でも、運動会の応援合戦に向けてパフォーマンスを考えたことです。たくさん話し合っただけで応援を考え、チームをまとめることができました。本番では、いいパフォーマンスができたと思います。赤組の応援は、みんなで獅子舞の頭を作り、すばらしい応援になりました。

他にもたてわり活動では、リーダーとして楽しく参加できる遊びを考えました。下級生は、楽しく遊んでいたのが、大成功だと思いました。6年生全員一丸となって取り組み、充実した前期だったと思います。

後期にがんばりたいことは、2つあります。1つ目は、6年生として行事や委員会、たてわり活動で進んでアイデアを出して話し合い、下級生の手本になるようにしたいです。最終的には、今の5年生が6年生になったときに見通しをもって活動できるように手本になるような取り組みをしたいです。

2つ目は、学習の取り組み方です。私は、メディアを優先してしまいがちなので、学校から帰った後は、学習を優先できるように生活時間を見直したいです。また、来年度は中学生になります。6年間の学習の復習をして中学校に入学したいと考えています。

後期は、修学旅行などの楽しい行事もあるので、みんなと協力して、卒業までに楽しい思い出を作っていきたいです。



収穫を満喫！！

1年生と2年生は、学校菜園のサツマイモを収穫しました。前日に校務員がツルを下刈りをしていただけで、子どもたちはねらいを定めて掘りました。子どもたちは、自分の腕より太いサツマイモをドンドン収穫するほどの豊作だったようです。



5年生は、平根ファームさんで稲刈りの見学をしました。コンバインの三疊刈り、四疊刈り、五疊刈りという使い分けや、刈り取った稲をトラックに移す作業に興味津々だったそうです。「晴天の日に合わせて稲刈りをする日を決定する」というお話を聞いて納得したり、平根ファームの方々にインタビューしたりと、米づくりの工夫について思いを広める機会になりました。



3年生と4年生は、直根学習センターでそばの刈り取り体験をしました。直根栄寿会のみなさんと鳥海スクールサポーターズ倶楽部のみなさんにご協力いただきました。今年は、黒いそばの実が赤い茎にたくさんなっていました。そば畑がほんのり赤く見えるほど、順調に育ってくれたのです。はさみで一本一本刈る子ども、束でまとめて刈ってから根元を切り取る子ども、と様々でしたが、みんなそれぞれ、そばの実を落とさずにブルーシートにならしてまとめました。その後、刈り取り機がそば畑を周回しながら刈り取る様子に、「さすが早い」「残さず刈り取っている」と見入っていました。収穫しながら「そば刈りが終わったから、次はそば打ちだ!」と、子どもたちは、次の活動に期待を膨らませていました。



◇「教育活動に関するアンケート」を実施しています。回答用紙または、Webで10月15日(火)まで回答くださるようお願いいたします。

◇休み明けに睡眠不足で体調を崩す子どもが見かけられます。どうやらゲームを長時間やって眠っていなかったためのようでした。読書や運動など秋休みは、ゲーム以外で時間を使えますように。生活習慣の整えに見届けのご協力をお願いします。

